

令和5年度事業報告書

公益目的事業

公1. 誘致活動事業

I. 観光客誘致拡大事業

本市の観光魅力を全国に発信し、観光誘致の推進を図るため、航空会社や旅行会社とタイアップした誘客企画、ターゲットや時期を絞り継続した旅行商品の造成依頼を行い、観光入込客数や宿泊客の増加を目指した。

1. 国内観光誘客推進事業

(1) 旅行会社等タイアップ事業

各地域をカバーする主要な旅行会社に対して、年間を通しての宿泊増を図るための旅行商品造成や集客事業に対する支援を行った。

① JALパック

商品内容：宮崎フェニックスリゾートゴルフツアー

宿泊設定：1施設／ゴルフ場：1コース

期 間：令和5年4月～令和6年3月

送客実績：178名

② JTB協定旅館ホテル連盟（上期）

商品内容：「宮崎で遊ぼうクーポン」付宿泊商品

宿泊設定：市内10施設

期 間：令和5年4月～9月

送客実績：553名

③ JTB協定旅館ホテル連盟（下期）

商品内容：「宮崎で遊ぼうクーポン」付宿泊商品

宿泊設定：市内10施設

期 間：令和5年10月～令和6年3月

送客実績：406名

④ JTB協定旅館ホテル連盟（春）

商品内容：あったか宮崎 宿泊プラン（キャンプ・花旅）

宿泊設定：市内10施設

期 間：令和6年1月～3月

送客実績：16,451名

⑤ (株)HIS関東

商品内容：「宮崎で遊ぼうクーポン」付宿泊商品

宿泊設定：市内5施設

期 間：令和5年8月～令和6年3月

送客実績：359名

⑥ (株)HIS関西

商品内容：「宮崎で遊ぼうクーポン」付宿泊商品

宿泊設定：市内5施設

期 間：令和5年8月～令和6年3月

送客実績：196名

⑦ (株)HIS中部

商品内容：「宮崎で遊ぼうクーポン」付宿泊商品

宿泊設定：市内5施設

期 間：令和5年8月～令和6年3月

送客実績：238名

⑧ (株) JTBガイアレック

商品内容：九州・沖縄・四国ゴルフ
宿泊設定：5施設／ゴルフ場：7コース
期 間：令和5年10月～令和6年3月
送客実績：530名

⑨西鉄旅行(株)

商品内容：女子プロゴルファーとラウンド 宮崎1泊2日
期 間：令和6年1月
送客実績：69名

⑩西鉄旅行(株)

商品内容：福岡ソフトバンクホークスキャンプツアー
期 間：令和6年2月
送客実績：139名

⑪(株)マリンエージェンシー

商品内容：フェリー往復+宿泊パック 南九州リゾートプラン・ビジネスプラン
期 間：令和5年4月～令和6年2月
送客実績：182名

⑫(株)クラブツーリズム

商品内容：往復宮崎カーフェリー利用 オリックス・バファローズキャンプ見学3日間
期 間：令和6年2月
送客実績：113名

⑬JALダイナミックパッケージ

商品内容：「宮崎で遊ぼうクーポン」のタイムセール等
期 間：令和5年4月～令和6年3月
送客実績：12,318名

⑭読売旅行

商品内容：読売ロマンの旅 in 宮崎
期 日：令和6年3月17日
総客実績：713名

(2) 旅行会社等セールス事業

旅行会社等へのセールスを実施し、次年度以降の旅行商品造成にかかるセールスや観光素材のPR、継続的な商品造成への依頼を実施した。

①東日本エリアセールス

訪 問 先：(株)読売旅行(商品企画本部)、(株)クラブツーリズム(国内旅行本部)、
(株)阪急交通社(東日本営業本部)、(株)JTB教育第二事業部、
(株)JALパック、ANAX(株)、

内 容：宮崎で遊ぼうクーポン、ゴルフマンスセールス、教育旅行

期 間：令和5年6月・9月

②西日本エリアセールス

訪 問 先：西鉄旅行、(株)HIS(福岡支店・関西スポーツ事業営業所)、第一観光(株)、
(株)読売旅行(福岡営業所)、(株)日本旅行(神戸支店・兵庫教育旅行支店・
大阪法人営業支店・関西教育旅行支店)、宮崎カーフェリー(株)関西支店、
(株)リトルコンシェル

内 容：スポーツキャンプ、スポーツ合宿、教育旅行

期 間：令和5年5月・6月・11月

(3) ホテル旅館連盟タイアップ事業

各旅行会社の旅館連盟と連携し、旅行商品造成や依頼と広報に繋げるための誘客施策を行い、本市への誘客に努めた。

①日本旅行協定旅館ホテル連盟 宮崎支部

期 間：令和5年7月25日～26日

内 容：関西キャラバン

②JTB協定旅館ホテル連盟 宮崎支部

期 間：①令和5年6月13日～15日 ②令和5年12月12日

内 容：①関西、名古屋キャラバン ②拡大キャラバン（全国商談会）

II. 教育旅行支援事業

1. 教育旅行推進事業

平成22年に発生した口蹄疫等の影響で、全国からの修学旅行生が減少したため、宮崎教育旅行誘致受入協議会が中心となり誘致活動を行ってきたが、さらなる誘致受入の強化を図るため、平成28年度より（公財）みやざき観光コンベンション協会（現：（公財）宮崎県観光協会）が、事務局となり宮崎県教育旅行誘致推進協議会を発足。みやざき元気体験プログラムを中心とした、受入体制の充実に努めた。

令和5年度は、県内外ともにコロナ禍前の行先に方面を変更し、本市内の受入れ校数が減少したが、関西圏の中学校・高校及び県内の支援学校については引き続き県内で実施するケースが一定数みられた。

期 間：令和5年4月1日～令和6年2月29日

内 容：補助金1人上限5,000円/宿泊補助（1人2,000円）体験補助（1人上限3,000円）

(1) 誘致対策の推進（説明会・セールス）

①関西旅行会社へのセールス

期 間：令和5年7月10日～12日

内 容：関西の旅行会社へ補助事業の説明と体験プログラムの案内、
関西圏の学校の今後の計画について調査

②南九州教育旅行誘致受入対策会議

期 間：令和5年7月13日

内 容：南九州三県の関係者及び大手旅行会社との会議・意見交換会

(2) 受入対策の推進

宮崎の魅力を再発見してもらうため、マリンスポーツなどの宮崎ならではの豊かな自然、宮崎の伝統・文化を取り入れた魅力あるプログラムを提供し修学旅行の受入れ誘致を図った。

プログラム数：25プログラム

①体験学習受入対応：18校（県内8校・県外10校）

県内学校内訳：小学校2校 支援学校6校

県外学校内訳：中学校4校 高校6校

②視察受入れ

次年度実施予定：2校

(3) 令和5年度実績

補助事業

宿泊補助：32校 2,113名（引率・生徒合計）

※前年度94校 7,120名 人数前年比29.7%

補助額：4,226,000円

体験補助：18校 1,335名（引率・生徒合計）

※前年度48校 3,648名 人数前年比36.6%

補助額：3,677,550円

補助金計：7,903,550円

（前年度実績23,104,460円 前年比34.2%）

Ⅲ. 観光情報発信事業

観光振興及び地域活性化を目的に各関係機関と情報共有や連携を図り、観光地やグルメ、温泉、体験等、本市の魅力ある観光情報を本協会のホームページやSNSをはじめ各種媒体を通じて幅広く発信し、近年多様化する観光客のニーズを的確に捉えた戦略的な観光誘客を図った。

1. 観光プロモーション事業

(1) メディア連携情報発信事業

① 関東地区

1) 駒沢女子大学と連携したSNSによる観光情報発信

駒沢女子大学と連携してマーケティング活動を実践し、関東地区からの誘客促進を目指した。具体的には、宮崎の観光地「青島」を中心にSNSを活用した情報発信を行い、本市への誘客施策を実施。モニターツアー後はガイドマップを作製し都内各所で配布した。

また、宮崎ぎょうざのPRのため、学生が同大学の学園祭で出店販売を行った。

期 間：令和5年9月11日～13日

実 績：期間中のInstagram投稿8件 合計リーチ数約15,000回
学園祭での宮崎ぎょうざ販売 3,000個

2) 「新宿みやざき館KONNE」ひなたビジョンを活用したプロモーション

2月プロスポーツキャンプの事前告知イベントに合わせてPR広告を掲出した。

期 間：令和5年11月27日～12月3日（7日間）

実 績：15秒の告知画像を期間中1,330回放映

② 関西地区

1) 神戸まつりでの宮崎市ブース出店

宮崎カーフェリー（株）、宮崎県大阪事務所と合同で観光PRブースを出店し、青果物の実演販売及びSNS登録者へのガラポン抽選会、サンプリングを実施。

期 日：令和5年5月28日

実 績：イベント来場者数 1,043,600名

2) 日刊スポーツ紙による観光PR及びプレゼント企画

日刊スポーツ（大阪本社）が発行する紙面で、宮崎サンシャインレディによる観光PRや完熟マンゴープレゼントキャンペーンを実施。

掲 載 日：令和5年5月13日

発行部数：522,629部

3) サンケイスポーツ紙によるプレゼント企画

サンケイスポーツ（大阪本社）が発行する紙面で、キャンプ地産直「宮崎牛プレゼント企画」を実施。

掲 載 日：令和6年2月14日

発行部数：724,024部

4) BSよしもとと連携したプロモーション

BSよしもと「となりマッチ」に宮崎サンシャインレディが出演し、日南市「かつお」と宮崎市「ぎょうざ」で日本一対決を実施。広域連携による観光情報発信を行った。

放送内容はYouTubeチャンネルによるアーカイブ配信も行っている。

期 日：令和5年6月14日

実 績：YouTube「住みます芸人チャンネル」 閲覧数：1,075回

5) 関西テレビ キャッチアップ広告出稿と年末特別番組での情報発信

関西テレビにキャッチアップ広告を出稿。また、年末特別番組（目指せARE!アスリートvs芸人ガチ対決&祝ARE!阪神V戦士おもてなしSP）内のスポーツ企画で優勝したチームに宮崎牛を進呈。食を中心とした観光情報発信を行った。

期 間：キャッチアップ広告 令和6年3月

年末特別番組放送日 令和5年12月30日

実 績：キャッチアップ広告 インプレッション 約170,000回

6) 関西テレビ TVerでの観光PR動画の発信掲載

本市観光PR動画「来たらいっちゃが！宮崎CITY！」を関西地区のTVer視聴者をターゲットに発信。

期 間：令和6年3月

実 績：約280,000 imp

7) 宮崎カーフェリー 船内宮崎市キャンペーン

宮崎－神戸間を就航している宮崎カーフェリー船内において、宮崎市キャンペーンと称し、船内で本市食材の提供や伊勢えび振る舞いを実施し、本市の観光及び食のPRを行った。

期 間：令和5年11月1日～7日（伊勢えび振る舞いは1日のみ）

実 績：約5,600名（フェリー旅客定員576名×2往復×7日間）

③九州地区

1) スポーツニッポンへの掲載

スポーツニッポン全国版に購読者プレゼントキャンペーンとして、宮崎牛を提供。西部版には夏季イベント情報を掲載。

掲 載 日：令和5年7月10日（宮崎牛プレゼント）

令和5年7月26日（夏季イベント掲載）

実 績：全国版 約1,692,000部

西部版 約251,000部（九州・沖縄・山口・島根の一部）

2) 西日本新聞社 ファンファン福岡掲載

購読者プレゼントキャンペーンとして、その年にブランド認定された「宮崎うなぎ」の提供と夏季イベント情報を掲載。

掲 載 日：令和5年6月23日（夏季イベント）

令和5年7月21日（宮崎うなぎプレゼント）

発行部数：約345,000部（配布エリア 福岡都市圏）

3) メディア出演による情報発信（NHK福岡、RKB毎日放送）

NHK福岡「はっけんTV」、RKB毎日放送ワイド番組「タダイマ！」及びラジオ「#さえのわっふる」で、宮崎サンシャインレディによるイベント情報発信。

期 日：令和5年7月19日

実 績：【NHK福岡】

視聴エリア人口約3,457,000名、全国NHK視聴率約1.5%

【RKB毎日放送】

視聴エリア人口約5,118,000名、視聴率 約1.5%

4) わけあって延岡秋冬号への掲載

本市の観光情報及び「宮崎遊ぼうクーポンDX」を掲載。

掲 載 日：令和5年10月

実 績：25,000部発行（配布エリア 東京、大阪、福岡、県北エリア、道の駅等）

5) WASHハウスアプリによる観光広告配信

九州地区に435店舗コインランドリーを出店しているWASHハウス（株）が運営する「WASHハウスアプリ」（累計約55万ダウンロード）の九州エリアの利用者に対し宮崎キャンプや観光情報を発信。

期 間：令和5年12月20日～令和6年2月9日

実 績：表示回数 273,500回 クリック数 2,392回 クリック率 0.9%

クリック数 高エリア 佐賀県1.2% 低エリア 福岡県0.8%

6) 西スポWEB OTTO!へ広告掲出

西日本新聞社が展開するスポーツメディア「西スポWEB OTTO!」で、本市でキャンプを実施している、福岡ソフトバンクホークスとアビスパ福岡の記事に本市の観光情報広告を掲載。キャンプ時期以外での本市への観光誘客を図った。

期 間：令和6年2月23日～3月15日

実 績：福岡ソフトバンクホークス記事

514,977imp/クリック数 553/クリック率 0.11%
アビスパ福岡記事

109,993imp/クリック数 162/クリック率 0.14%

7)MR T×RKBラジオ生中継によるホークスキャンプ・観光情報の発信

福岡ソフトバンクホークスキャンプ地からのラジオタイアップ企画として、RKBラジオ・MR Tラジオ同時生中継番組（2時間）でホークスキャンプ情報や宮崎サンシャインレディによる特産品紹介や観光PRを実施。

期 日：令和6年2月11日

実 績：生中継来場者約300名、プレゼント応募者103名

8)KBC九州朝日放送 「アサデス。ツアー」

KBC九州朝日放送の人気番組「アサデス。」と連携した福岡ソフトバンクホークス宮崎春季キャンプツアーを実施。1日目はキャンプ地見学、2日目はキャンプ地、観光ツアー、グローブづくり体験の中から選択。観光ツアーは、和太鼓体験や青島観光、グローブづくり体験は宮崎和牛を使ったグローブ作製など、キャンプ地以外での特産品や観光をPR。

期 間：令和6年2月3日～4日

実 績：参加者397名

④キャンプ地みやざきPR

1)スポーツニッポン紙によるプレゼント企画

スポーツニッポン（大阪本社）が発行する紙面で、オリックス・バファローズ優勝記念特別プレゼント企画として宮崎牛を進呈。

掲 載 日：令和5年10月1日

実 績：大阪本社発行部数 550,818部

2)神戸ルミナリエ キャンプ地PRキャンペーン

宮崎カーフェリー（株）、宮崎県大阪事務所と合同でキャンプ地PRブースを出店し、当協会Instagramフォロワー者を対象にガラポン抽選会やイベント参加者に対してサンプリングを実施。

期 日：令和6年1月27日

実 績：イベント累計来場者数 2,298,000名（10日間開催）

⑤旅行・観光媒体広告

1)楽天GORAでのゴルフ情報の掲載

楽天GORAで特集ページを掲載し、メルマガで市内各ゴルフ場の紹介やおすすめプランの紹介をはじめプレークーポンを配布。

期 間：令和5年7月1日～12月31日

実 績：特集ページのPV（上期）1,709回、（下期）1,962回

メルマガ配信 配信日：令和5年 7月24日 通数：1,143,123数

配信日：令和5年12月11日 通数：1,154,727数

クーポンダウンロード数（上期のみ） ※すべて利用済

通常予約：配布枚数350枚、獲得枚数2,053枚

1人予約：配布枚数150枚、獲得枚数758枚

2)ゴルフダイジェスト・オンライン「みやざきキャンペーン」特設サイトによるPR

ゴルフダイジェスト・オンラインのWebサイト内に特集ページを設け、市内ゴルフ場等の情報を掲載した他、クーポン配布や抽選プレゼントキャンペーンを実施。

期 間：令和5年10月1日～令和6年3月31日

実 績：特集ページ69,845PV 抽選応募総数 2,000件

3)その他

わけあって延岡 春夏号、みちくさ初夏号、日刊スポーツ西日本、温泉博士8月号、旬の冊子（みやPEC推進機構発行）、読売新聞九州版・宮崎県版、ON AIR 7月号
みやざき納涼花火大会中継CM（宮崎ケーブルテレビ）

⑥デジタルメディア

1) TVerを活用した観光PR動画を広告配信

ターゲット毎にデジタルメディアへの発信を想定したプロモーションビデオ「来たらいっちゃが！宮崎CITY！」を日本語・英語字幕付きで制作。制作したビデオを「Instagram」や「TVer」で広告配信。

動画制作期間：令和6年1月15日～3月5日

広告配信期間：令和6年3月11日～15日

実績：

動画制作：20代の女子旅向け 15秒、30秒（縦画面）

30代の子育て世代向け 15秒、30秒

50～60代のミドルシニア世代向け 15秒、30秒

広告配信：20代の女子旅向け Instagram広告 383,030回視聴

30代の子育て世代向け TVer広告 84,739回視聴

50～60代のミドルシニア世代向け TVer広告 105,878回視聴

PRTIMES発信 総アクセス数208回 転載サイト数 22媒体

2) 「旬刊旅行新聞」を活用したWEB記事配信

コンベンション及びワーケーションによる観光誘客を図るため、紙面及びWEB版に旅行会社及び会社経営者をターゲットに、市内で提供可能なユニークベニューを掲載。

期間：紙面 令和5年12月21日 発行

WEB 令和5年12月25日～

実績：紙面 32,000部発行

WEB 延べ286閲覧

3) ANASKYWEB専用ページを活用したプロモーション

本市への観光誘客を促進するため、WEB版「美術手帖」にタイアップ記事を掲載、ANAトラベラーズダイナミックパッケージクーポンを活用。

期間：令和5年10月3日～令和6年2月28日

実績：WEB版美術手帖PV数 1,916PV

美術手帖公式X投稿 インプレッション数 89,851回

ANA公式X投稿 インプレッション数 約16,000回

DPクーポン消化率 86%（一人当たり5,000円/上限100名）

4) 日本航空（株）と連携した観光情報発信

JAL異文化コミュニケーションの講座の様子を海外メディアへリリース。

期間：令和6年1月31日～2月29日

実績：台湾12社、マカオ3社、香港16社、他3社 計34社

「トラベルWatch」「JALSTAFFVOICE」観光情報発信 各1回

(2) イベント関連プロモーション事業

①旭川食べマルシェでのブース展開

北海道3大まつり「旭川食べマルシェ」にソラシドエアとタイアップしてPRブースを出店し、宮崎ぎょうぎの実演販売と観光PRを実施。

期間：令和5年9月16日～18日

実績：イベント来場者 延べ814,000名

②旭川－宮崎 相互送客キャンペーンの実施

旭川－羽田（AIRDO）と羽田－宮崎（ソラシドエア）を連結させた相互送客キャンペーンを実施。HPやSNSでのプロモーションのほか、旭川からの来宮者に「宮崎で遊ぶクーポン」を提供。

期間：令和6年2月1日～3月18日

実績：AIRDO 公式X フォロワー数31,077名、キャンペーン利用者2名

③「THE DROP FESTIVAL」での宮崎ぎょうざの提供

ミュージックフェス「THE DROP FESTIVAL」（会場：みやざき臨海公園）
会場内で来場者に宮崎ぎょうざ500人前を提供して、プロモーションを実施。

期 日：令和5年9月30日

実 績：総来場者数 約7,000名（主催者発表）

④宮崎カーフェリー「ろっこう」1周年記念イベント

カーフェリーろっこう1周年を記念して、神戸市（神戸ハーバーランドumie MOSAIC）
で本市の観光PRを実施。

期 日：令和5年10月2日

2. 観光魅力情報発信事業

(1) ホームページ・SNS情報発信事業

本市観光の個別の事業で発信する情報を集約し、効果的・効率的に国内外に本市観光の情報発信を行った。用途に応じた観光パンフレットの配布、観光案内所、観光施設等での案内業務の迅速化や受入サービスの向上に努めた。各種SNS「Facebook」、「Instagram」、「X」においては、本市の観光に関するイベントや季節に合わせた観光地情報について、写真だけでなく動画を制作し投稿。特に「X」で開催した特産品や観光地の入場券などのプレゼント企画では、特産品や観光地のPR行いフォロワーも増加した。Instagramでは新しい取り組みとしてフォトコンテストを実施。県内外から多数の応募があり、本市の新たな魅力発見に繋がった。

SNSアカウントのフォロワー数 <令和6年3月31日現在>

- ・Facebookフォロワー数：1,755名（前年度 1,618名 前年比 108.5%）
- ・Instagramフォロワー数：8,108名（前年度 5,170名 前年比 156.8%）
- ・ X フォロワー数：35,303名（前年度24,030名 前年比 146.9%）

(2) ホームページ管理事業

令和5年度HP閲覧数：約330万回（前年度 約335万回 前年比 98.5%）

(3) 観光パンフレット等作製

- ・ウォーキングマップ（内容更新） 10,000部
- ・ウォーキングマップ（英語版） 5,000部
- ・宮崎STYLE（内容更新） 5,000部
- ・宮崎STYLE（英語版） 5,000部
- ・2023宮崎で遊ぼうクーポンDXチラシ（内容更新） 10,000部

(4) カレンダー作製

近年のトレンドであるSNS映えする近代的な写真や懐かしさを感じる昔ながらの観光地の景色でカレンダーを作製。

テーマ：映える宮崎発見～ワクワクが止まらない～

作製部数：1,000部

(5) その他（ポスター、キャラクター）

①ポスター

食の宝庫宮崎市。宮崎の「食」を県内外に発信し、本市の観光イメージアップを図る観光宣伝物として「宮崎グルメお品書き」と称した宮崎グルメポスターを作製。

作製枚数：100枚

②本市観光イメージキャラクター

本市の観光イメージキャラクターである「ミッシちゃん」を通じて、市内外のイベント出演やSNSからの情報発信で観光PR。

派遣回数：11回

公式SNS：X フォロワー数：1,112名／Facebook フォロワー数：540名

3. 宮崎で遊ぼうクーポン事業

宮崎ならではの観光資源を活用した事業を推進することで、旅行需要の喚起を促し、他都市との差別化を図っている。宮崎県内の観光素材を活用したソフト事業として、点在する観光素材を面で展開するために、地元の観光施設等と連携して宮崎ならではのコンテンツのPRとクーポン販売を行った。また、大手旅行会社のパンフレット掲載や県外イベントなどで効果的な情報発信に努めた。新たな取り組みとして、令和5年度より紙クーポンを廃止しアプリを活用した完全電子化に移行。利用者や参画施設の利便性向上、ペーパーレス・人的作業の簡略化を進め、より持続可能な事業を目指した。

(1) 「宮崎で遊ぼうクーポン」の作製と販売

通常より割安で各アクティビティを利用することができる電子クーポン。販売は通年行い、旅行会社の継続した商品展開にも対応。電子化されたことで、販売所へ行かずともアプリからいつでもどこでも必要なタイミングで購入可能。

参画市町：5市5町（宮崎市・えびの市・西都市・日南市・串間市・国富町・高千穂町・綾町・新富町・南郷町）

参画施設：22施設 ※時季などにより変動あり

アクティビティ数：約70種類 ※時季などにより変動あり

販売期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

販売ポイント：4,760,000ポイント

※内訳：直販…358,000ポイント、AGTプラン…4,402,000ポイント（2,201件）

利用ポイント：2,386,030ポイント

(2) プロモーション

①印刷物

利用ガイド（A4サイズ）を作製し利用店舗や販売店舗、引換所などに設置。

県内外の各種観光プロモーションにおいても積極的に配布。

②旅行会社とのタイアップ

1) (株) JALパック

商品名：JALダイナミックパッケージ オプションプラン

設定期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

2) (株) JTB

商品名：宮崎で遊ぼう！！

設定期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

商品名：九州オプションプラン「旅の過ごし方 満喫クーポン」

設定期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

3) (株) H.I.S

商品名：九州であそぼ

設定期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

商品名：WEB版九州で遊ぼうHISオリジナルとびっきりクーポン

設定期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

4) (株) 福利厚生倶楽部九州

宮崎市役所互助会、自社会員からの発注を取りまとめている代理店。通年販売。

(3) その他の取り組み

①北海道旭川市との連携事業

当協会と（一社）旭川コンベンション協会が友好盟約を締結している縁から、旭川市及び航空会社「AIRDO」、「ソラシドエア」と連携し「旭川発→宮崎着 旭川から宮崎へ行く！遊ぼう！キャンペーン」を実施。AIRDOダイナミックパッケージから予約の先着100名に宮崎で遊ぼうクーポン（2,000ポイント分）を付与するキャンペーンを実施。

実施期間：令和6年2月3日～3月23日

4. インバウンド関連事業

(1) インバウンド誘客戦略事業

コロナ禍で変化した訪日旅行のニーズを捉え、効果的なインバウンド誘客を行い、インバウンド消費額の増加を狙うため、韓国、シンガポールにて、ニーズ調査等を行うとともに、旅行会社等に対して宮崎の魅力を発信。

①韓国訪問

期 間：令和5年7月4日～7日

訪 問 先：STAR JAPAN、S J ツアー、C J ツアー、ヒカリグローバル、
斗山ベアーズ、ハンファイエーグルス

②シンガポール

期 間：令和5年8月12日～15日

訪 問 先：JR東日本(株)シンガポール支店、(株)日本旅行シンガポール支店、
(株)HISシンガポール支店、(株)JTBシンガポール支店、
NATAS Fair(旅行博)

(2) インバウンド回復支援事業

本市への誘客促進を目的に、新規コンテンツの発掘や旅行商品の造成拡大に繋げるため、韓国旅行会社のキーマン(仕入れや旅行商品造成責任者)を招聘し、観光施設や宿泊施設、交通業者等への現地視察と意見交換を実施。また、旅行会社との関係強化を図り、継続的な旅行商品の造成に繋げるため、主要旅行会社等へのセールス活動を実施。

①キーマン招聘

期 間：令和5年12月17日～20日、令和6年1月21日～24日

参 加 者：旅行会社(7社)

STAR JAPAN、S J ツアー、C J ツアー、ヒカリグローバル、
ハナツアー、Tidesquare、ヨギオテカンパニー

②旅行商品造成支援

対 象：S J ツアー、C J ツアー、ヒカリグローバル、スタージャパン、
Tidesquare、ヨギテオカンパニー

③現地セールス

期 間：令和5年10月22日～25日、令和6年3月10日～15日

訪 問 先：S J ツアー、C J ツアー、スタージャパン、ヒカリグローバル、
Tidesquare、ヨギテオカンパニー、斗山ベアーズ、ハンファイエーグルス、
ハナツアー

IV. 観光資源活性化事業

県内各観光地等と連携を図って、本市の魅力ある観光資源を活用した事業及び新たな観光素材開発の視点から、幅広い観光客をターゲットにした誘客事業を展開した。

1. 神話の魅力発信事業

平成24年度から令和2年度まで9年間実施した記紀編さん1300年記念事業をベースに、これまで取り組んだ内容を生かし「神話のふるさと宮崎」にしかできない神話の魅力発信や観光誘客に努めた。

(1) 宮崎神宮神事流鏝馬

観客席に棧敷席を設け、観客の受け入れ体制の整備。

(2) 青島神社裸まいり前夜祭 観光神楽披露

前夜祭は中止。

2. 体験プログラム受入事業

受入実績

みやざき元気体験プログラム利用者数

修学旅行：20団体1,616名（前年度48団体 3,641名 前年比44.38%）

一般団体：実績なし（前年度 1団体 6名）

V. 広報宣伝活動事業

観光客の誘致を推進するため、観光名刺や機関紙等、様々なツールを活用し宮崎の観光地や魅力ある観光情報を全国に発信し宮崎への誘客を図った。

1. 宮崎サンシャインレディ観光PR事業

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、様々な県内外の各種イベントに派遣を行った。前半は本市でキャンプを実施しているプロ野球3球団のキャンプ地みやざきスペシャルゲームや、青島ビールまつり、みやざきグルメとランタンナイト、後半はフェリーろっこの就航1周年記念イベントや姉妹都市樫原市への派遣や神武様、その他、プロ野球キャンプやプロサッカー、ゴルフ関係の歓迎イベントに参加し、本市への観光誘客を図るため全国に向けて観光PRを実施。

2年目を迎えたレディのさらなるスキルアップを図るため、所作・接客に関する研修や観光研修を実施。

(1) 派遣

期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

派遣回数：43回（県内派遣：32回 県外派遣：11回）

(2) 研修

①宮崎市の歴史、文化、観光について

期日：令和5年6月12日

講師：宮崎交通（株）西智子氏

②客室乗務員の所作、接客について

期日：令和6年6月15日

講師：九州旅客鉄道（株）樋脇菜緒子氏 吉田祥子氏

③宮崎市の観光について(実習)

期日：令和5年8月8日

講師：宮崎交通（株）西智子氏

2. 観光名刺印刷

魅力ある本市の観光地を全国に発信するため、本市内の主な観光地（5種類）がセットになった名刺台紙と本市が誇る景勝地・青島の名刺台紙2種類の販売を行った。

販売価格：350円（100枚）

販売場所：観光協会事務局、観光案内所

販売実績：6箱

3. 機関紙

(1) 機関紙（Mコミュニケーション）の発行（年4回）

No.164（6月）・No.165（8月）・No.166（11月）・No.167（1月）

配布先：観光協会会員他

4. まつり交流事業

姉妹都市「樫原市」との交流を図るため、樫原市で開催された「夢の森フェスティバル」に宮崎サンシャインレディと宣伝隊を派遣し、本市のPRを実施した。

(1) 姉妹都市交流事業

期 間：令和5年10月14日～15日

開 催 地：奈良県橿原市

参 加 者：18名（内訳：踊り隊 TEAM白華16名、（公社）宮崎市観光協会2名）

VI. 国内外観光交流事業

友好盟約を締結している国内外の観光協会等との相互交流として、関係者の招聘や訪問団の派遣等を行い、さらなる友好関係の構築に努めた。

1. 海外他友好都市交流事業

平成16年から観光友好盟約を締結している中国山東省青島市文化和旅游局や青島ビール工場の方々等を4年ぶりに招聘し、みやざき青島国際ビールまつりにおける友好式典や歓迎懇親会及び宮崎の観光資源の視察等を実施。

(1) 友好式典・歓迎交流会

①日中友好式典

期 日：令和5年8月26日

場 所：こどものくに

②歓迎懇親会

期 日：令和5年8月26日

場 所：ANAホリデイ・イン リゾート宮崎

2. 観光団交流事業

(1) 姉妹都市「橿原市」との交流

「第22回橿原夢の森フェスティバル」における歓迎会及び開会式典に出席して交流

①歓迎会

期 日：令和5年10月13日

場 所：橿原オークホテル

②開会式典

期 日：令和5年10月14日

場 所：橿原公苑 多目的広場特設ステージ

(2) 友好盟約を結んでいる（一社）旭川観光コンベンション協会との交流

4年ぶり19回目となる旭川訪問を実施。

①観光訪問団

期 間：令和5年11月14～16日

参 加 者：27名 当協会会員及び関係者13名、一般参加者14名

訪 問 先：道の駅サーモンパーク千歳、エスコンフィールド北海道

2023さっぽろオータムフェスト、札幌市場場外市場

北海道ガーデン街道「風のガーデン」、北の恵み 食べマルシェ2023等

②歓迎交流会

期 日：令和5年11月15日

場 所：OMO7旭川by星野リゾート

参 加 者：59名 宮崎側：29名、旭川側：30名

公2. 観光客受入体制関連事業

I. 観光客受入事業

受入体制の充実を図るため、観光客に対し、観光案内等の各種サービスを提供しイメージアップに努めた。また、周辺の観光地および施設等と連携して、利便性、周遊性の向上を図り、観光客の滞在時間の増加と満足度の向上に努めた。

MICE開催地としての魅力向上・発信を高めるため、本市観光の拠点であるニシタチエリアの「人情横丁を貸し切りプラン」のコンテンツ開発に努めプランの予約を開始した。

1. 宮崎市観光従事者研修会

期 日：令和5年12月6日
場 所：ニューウェルシティ宮崎
参 加 者：104名
演 題：「観光客に選ばれ地域が潤う観光地経営」
講 師：（一社）別府市産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK
代表理事 堀 景 氏

2. 渚の交番の整備・運営事業

平成24年4月から、第1～3期の指定管理受託者として、通算11年間（特非）宮崎ライフセービングクラブとの連携のもと、多くの観光客が訪れる観光地青島の「安心・安全、きれいで楽しい海づくり」を目指して各種事業に取り組んだ。

（詳しい内容については、その他関連事業の「7. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会」を参照）

3. レンタサイクル事業

令和2年の観光案内所リニューアルオープンを機にサイクルポートを宮崎駅東口に移設し、貸出環境の利便性が向上し利用者は増加している。令和5年度はレンタサイクル利用者に熱中症対策として期間限定でお茶を配布する等、利用者の快適な環境づくりにも努めた。

年間利用者数：1,127名（前年度1,107名 前年比102%）

4. コインロッカー運営事業

令和3年6月より運用を開始。24時間取り出し可能なコインロッカーを宮崎駅東口の駅構外に設置。キャンプシーズンやイベント開催時に利用者が増加した。（前年比118%）

5. 宮崎WORK&STAY推進事業

（1）体験受入れの実施（田んぼオーナー制度）

ワーケーションの一環で、木花地区の田んぼで米の収穫を7月末に田植えを3月末に実施。

都市圏の企業が田んぼオーナーとなり、宮崎でワーケーションや地元農産品のPRを行った。取り組みの様子は、各メディアに取り上げられる等、宮崎の新しい旅の形の発信に繋がった。

オーナー企業：NPO法人CLOUDY、（株）HIRAKU

（2）コンテンツの魅力向上と新規開発・商品化

（株）JTB宮崎支店に委託し以下のとおり実施した。

①モデルコース作成

田野、高岡、青島の3エリアでのワーケーションモデルコースを作成。

②既存コンテンツのブラッシュアップ

綾・早川農苑の「無農薬農業体験」をワーケーションの体験コンテンツとして展開。

利用実績が全く無かったことから、コンテンツのブラッシュアップを実施。

③新規コンテンツの開発・商品化

焼酎づくり体験と蔵見学（（有）渡邊酒造場・田野町）

（3）宿泊費支援及び受入企業支援

①宿泊補助（1泊あたり 3,000円/人）

企業・団体向け 4社（12名）に81,000円を補助

個人向け 16名に126,000円を補助

②受入企業支援（農家や事業者へ最大100,000円/年）

1人（農家） 50,000円をワーケーション受入者に補助

4. 観光インフォメーション管理運営事業

年間を通して宮崎県内の観光地を案内。また、JNTOオンラインセミナーや、日本航空(株)の現役客室乗務員による異文化コミュニケーション講座等を受講し、職員の案内業務スキル向上と今後さらに高まる観光需要に備え万全な受入体制に努めた。

令和5年度から、みやざきアートセンター等の施設より受託した、前売り券販売、YAMAPノベルティ手交業務等を行い、案内所への誘客や周知、観光客の利便性向上に努めた。

また、プロ野球ファーム日本選手権の前売りチケット販売や春季スポーツキャンプグッズの特設販売を行い、収益アップや情報発信に努め様々な事業展開に努めた。

(1) 観光案内所

案内所利用者人数：22,742名(前年比131%)

内 訳：日本人19,027名 外国人3,715名(前年比日本人116% 外国人366%)

※前年度：17,419名(内訳：日本人16,405名 外国人1,014名)

営業状況：令和5年 4月1日～3日 ※まん延防止重点措置のため、時短営業。

令和5年 9月17日、9月19日 ※大型台風14号本県接近のため、時短営業。

令和5年 9月18日 ※大型台風14号本件接近のため、臨時休業。

令和5年12月28日～31日 (年末年始時短営業)

令和6年 1月1日～2日 (定休日)

令和6年 1月3日 (年末年始時短営業)

①宿泊施設有料案内：36組 55名(前年度46組 68名)

②VISIT MIYAZAKI BUS PASS他企画乗車券・宮崎交通バスカード等の販売(4種類)：3,316枚
(前年度1,796枚 前年比185%)

③Wi-Fiルーターレンタル・SIMカード販売：59件(内訳：日本用49件 海外用10件 SIMカード0件)
(前年度：日本用100件 海外用4件 SIMカード3件)

④手荷物一時預かりサービス：小500個・大41個(前年度：小567個・大13個)

⑤手ぶら観光サービス：0件(前年度：5件)

⑥物販：青島恋旅チケット、観光名刺、天孫降臨ヒムカイザーDVD、ポストカード、
ミッシちゃんストラップ、3球団グッズ、動物園・フローランテ共通入園券

⑦手交業務：宮崎で遊ぼうクーポンDXクーポン、ぐるっぴー1回乗車券、レンタサイクル利用
サービス/JTB-HUB、宮崎市×YAMAPノベルティ配布

⑧展覧会・催事等の前売チケット販売：つくる展、原田治展、かみよりつぐかたち(みやざきアートセンターより受託)

⑨レンタサイクル事業：(実績はレンタサイクル事業参照)

⑩東口コインロッカー運営管理：(実績はコインロッカー事業参照)

(2) 令和5年度の取り組み

①研修会の参加(職員研修)

・2023年度 JNTO認定案内所地域セミナー / 九州・沖縄ブロック研修会

期 日：令和5年7月7日

・日本航空(株) 異文化コミュニケーション講座

期 日：令和5年12月13日

・2023年度 JNTO認定外国人観光案内所全国研修会

期 間：令和6年2月21日～22日

②チケット販売

・つくる展 -TASKOファクトリーのひらめきをかたちに-

販売期間：令和5年5月1日～8月27日

・2023年プロ野球ファーム日本選手権

販売期間：令和5年9月17日～10月6日

・VISIT MIYAZAKI BUS PASS / 宮崎県 置県140年記念乗車券

販売期間：令和5年10月1日～令和6年2月29日 ※令和5年10月完売

・原田治展「かわいい」の発見 Osamu Harada: Finding "KAWAII"

販売期間：令和5年10月17日～12月15日

- ・かみよりつぐかたち
販売期間：令和6年2月19日～3月22日

③情報発信

- ・福岡ソフトバンクホークス VS 埼玉西武ライオンズ 公式戦 ユニフォーム着用
期 間：令和5年4月1日～8日
- ・ラグビー日本代表 ONE TEAM大作戦 展示品掲出 / ユニフォーム着用
期 日：令和5年7月19日
- ・宮崎カーフェリー「たかちほ」船舶模型・パネル展示
期 間：令和5年8月1日～9月5日
- ・宮崎市×YAMAPデジタルスタンプラリーキャンペーン特製ノベルティ配布
期 間：令和5年11月1日～令和6年1月31日
- ・春季キャンプ3球団フォトスポットパネル設置
期 間：令和6年1月26日～2月29日
- ・ソフトバンクホークス 春季宮崎キャンプ ためたカポイントスポット設置
期 間：令和6年2月1日～29日
- ・プロ野球5球団周遊スタンプラリーWチャンスアンケート、ノベルティ配布
期 間：令和6年2月1日～25日
- ・プロ野球春季キャンプ3球団グッズ特設販売
期 間：令和6年2月2日～29日

④メディア露出 ※ラグビー日本代表ONE TEAM大作戦について

- ・放送日：令和5年7月19日 NHK / 番組名：てげビビ!

⑤調査協力

- ・観光群流データ収集・解析実証実験センサー設置（宮崎産業経営大学）
期 間：令和4年12月23日～令和5年6月6日
- ・KYUSHU Tourism Survey九州におけるインバウンド観光客の九州来訪回数等調査（一社）九州観光機構）
期 間：令和5年8月26日～令和6年2月29日
- ・外国人観光客対象「旅行中の災害に対する意識調査」（宮崎公立大学学生）
期 間：令和5年12月21日～27日

5. 神話・観光ガイド支援事業

(1) おもてなしボランティア事業

平成12年に宮崎市観光ガイドボランティア協議会が設立されて以降、神話ガイドボランティア協議会の設立などを経て、組織運営面や事業など活発なガイド活動を行ってきた。新型コロナウイルス感染症の影響により一時活動休止も余儀なくされてきたが、第5類感染症へ移行後、案内客数、受付数ともに順次回復してきた。

ガイドボランティア基本情報

青島神社	9:30～12:00	13:00～15:30
江田神社	9:30～12:00	13:00～15:30
宮崎神宮	火・水曜日 9:30～12:00	13:00～15:30
平和台公園	木・金曜日 9:30～12:00	13:00～15:30
ボタニックガーデン青島	土・日・祝日 9:30～12:00	13:00～15:30
案内総客数：13,565名	(有料ガイド：1,395名 無料ガイド：12,170名)	
	(前年度：総客数8,348名 前年比 162.5%)	
受付総件数：5,040件	(有料ガイド：118件 無料ガイド：4,922件)	
	(前年度：総件数2,814件 前年比 179.1%)	
ボランティア登録数：66名	(男性：33名 女性：33名)	

(2) 宮崎市観光・神話市民大学の開催

期 日：令和6年3月17日
場 所：ニューウェルシティ宮崎「アンジュラス」
参加者数：42名

内 容：＜第一部＞

演 題：「宮崎の神話伝承と磐座信仰」

講 師：日向市文化財保存調査委員会委員長

巨石ネットワーク日向代表 緒方 博文 氏

＜第二部＞

演 題：「暮らしの中の旅～旅するように暮らし、暮らすように旅をする～」

講 師：地域コーディネーター・交流アドバイザー

(株)アイロード 代表取締役 福永 栄子 氏

(3) 青島観光インフォメーション事業（宮崎市観光・神話ガイドボランティア協議会 運営）

ガイド案内件数：1, 323件（前年度677件 前年比 195.4%）

年間の稼働日数：349日 勤務スタッフ 1名

青島神社までのガイドを中心に、観光客への青島地区の観光案内を行った。

II. 観光イベント推進事業

観光客を対象とした、南国ムードを生かした魅力ある宮崎の観光資源をPRするイベントの開催や支援、また、新たな誘客素材の掘り起こしと開発を行うなど、地域活性化に努めた。

4年ぶりに「みやざき青島国際ビールまつり」や「みやざきグルメとランタンナイト」を開催。県内外から多くの来場者で賑いを見せた。

1. みやざき青島国際ビールまつり

中国山東省青島市との友好盟約締結から19年目。観光友好盟約セレモニーを実施し、記念品交換等を行った。天候が危ぶまれたが、予定通りに各種ステージや花火を実施し、宮崎グルメなどで子どもから大人まで多くの来場者で賑わった。また、令和5年度から前夜祭を含め3日間の日程で開催し、前夜祭がメディアに取り上げられたことで土日の賑わいに弾みがついた。

期 間：令和5年8月25日～27日（3日間）

会 場：こどものくに

来 場 者：5, 980名（25日/231名・26日/3, 087名・27日/2, 662名）

主 催：みやざき青島国際ビールまつり実行委員会（事務局：宮崎交通（株） 受託・イベント推進部）

2. みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、4年ぶりに10回目を開催。令和5年度は入場料の値上げのほか、入場時間を1時間繰り上げて実施した。

期 間：令和5年8月4日～20日 17日間

※台風6号の影響により8月6日～9日の4日間は臨時休園

時 間：16:00～21:30

会 場：フローランテ宮崎

来 場 者：67, 703名（令和元年実績 71, 985名 前回は94.05%）

来場者内訳 市内約60%、県内（本市除く）約22%、県外約18%（任意調査）

料 金：通常 おとな 500円 こども（小中学生）250円 ※未就学児無料

団体 おとな 400円 こども（小中学生）200円 ※未就学児無料

※団体料金は、無料入園者を除いた合計が20名以上の場合

主 催：みやざきグルメとランタンナイト実行委員会（事務局：（公社）宮崎市観光協会）

3. 女子硬式野球大会

令和5年度で3回目の開催。読売ジャイアンツ女子チームも参加し、計10チームで実施。

本事業を通して、「野球」コンテンツの新たな可能性と女子スポーツの受入を行い幅広いスポーツ事業の展開と閑散期9月の宿泊客増に努めた。

期 間：令和5年9月9日～10日

場 所：宮崎市清武総合運動公園

優 勝チーム：読売ジャイアンツ女子チーム（東京）

準優勝チーム：九州ハニーズ（福岡）

参加チーム：読売ジャイアンツ女子チーム（東京）、MSH医療専門学校（広島）、九州ハニーズ（福岡）、折尾愛真高等学校（福岡）、折尾愛真クラブ（福岡）、秀岳館高等学校（熊本）、熊本レッドホークス（熊本）、日南学園高等学校（宮崎）、神村学園高等学校（鹿児島）、CAR FUU（沖縄）

4. 行事負担金

実績：9件（日南海岸青島美化愛護協会 宮崎空港振興協議会 他）

第37回青島太平洋マラソン2023

本市の中心市街地を疾走できるコースとして人気を博し、近年のランニングブームなどに伴い、全国的にも人気の高い大会として定着。コロナが5類に移行して初めての大会となり今年 は4年ぶりに3km種目も復活し、ようやくいつもの「アオタイ」が戻ってきた。

同時開催：第32回視覚障害者マラソン宮崎大会

期 日：令和5年12月10日

コ ー ス：フルマラソン・3Km

参加者：11,296名（県外：5,808名／県内：5,488名）

5. フラおもてなし推進事業

フラと本市の南国情緒を融合し、「フラのメッカ 宮崎」のイメージを定着させるとともに、宮崎を訪れる観光客等に対してフラによるおもてなしを行った。

おもてなしフラ披露

当初計画：年14回（70団体）

実績：年11回（15団体）

6. 新規事業開発事業

(1) 観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」

新たな観光財源の確保を目的に計画した国補助事業の採択に向け中央官庁の訪問等を行った。

令和5年度は、地域計画のもと、宿泊施設・観光施設の改修、面的DXなど、地域・産業の「稼ぐ力」を回復・強化するための取組として、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の採択を受け各事業に取り組んだ。

・申請事業所数：21事業所

・申請時事業総額：約11億1,000万円

・令和5年度実施事業：14事業所 辞退等：6事業所 令和6年度実施事業：1事業所

(2) (仮称)宮崎満喫ガチャの企画開発

宮崎市観光案内所の来場者増の一助として、本市の魅力を県内外に知ってもらうために、宮崎特産品等が当たる「(仮称)宮崎満喫ガチャ」の企画開発を行った。持続可能で魅力的なガチャにするため、内容を精査し次年度に設置を行う。

(3) 宮崎市フェニックス自然動物園 法人サポーターの登録

「宮崎市フェニックス自然動物園」の法人サポーターに登録し、施設と連携を図りながら当協会SNSを活用して動物園情報を発信する情報発信者を募集し、情報発信を行った。

発信者総フォロワー数：約17,000名

当協会アカウントリーチ数：約6,000アカウント

7. みやざきふるさと食材アピール事業

宮崎の魅力ある食材や食文化を発信し、宮崎への旅の動機付けを喚起させ観光誘客を図った。

宮崎のご当地グルメである宮崎牛、地鶏、チキン南蛮、マンゴー、釜揚げうどんに加え、2021年度から2年連続で総務省調査購入頻度・支出金額日本一の「宮崎ぎょうざ」や豊かな黒潮に育てられた「伊勢えび」などをコンテンツとして、食の宝庫宮崎としてさらなる推進を図るため、プロモーションやイベントを実施した。

(1) 伊勢えび

日南市と連携し、「青島～日南」を伊勢えびのプロモーションエリアとして定着させるためスタンプラリーを実施。抽選で賞品(宿泊券等)が当たる企画を行い、周遊性と宿泊効果の向上に努めた。

名 称：日南海岸伊勢えびスタンプラリー
参画店舗：宮崎市 7店舗 / 日南市 14店舗
期 間：令和5年9月9日～10月31日
スタンプラリー参加応募数：2,152件
メディアセールス：西日本新聞社他、6社訪問
特設HPの制作
知事表敬 期 日：令和5年9月7日

(2) 宮崎ぎょうざ

「宮崎市ぎょうざ協議会」と連携し「餃子のまち！宮崎市」を全国に向けプロモーションを継続的に実施。2023年の総務省統計調査においては、購入頻度全国1位・支出金額全国2位を獲得した。

① 2023年「宮崎市ぎょうざ」支出金額・購入頻度順位発表セレモニー開催

期 日：令和6年2月6日
内 容：2023年の餃子 支出金額・購入頻度ランキングの年間発表
結 果：2023年総務省統計調査 ぎょうざ購入頻度全国1位・支出金額全国2位

② 宿フェス～宿観光旅博覧会～への協賛

期 間：令和6年2月14日～15日
場 所：東京都江東区 東京ビッグサイト
内 容：東京ビッグサイトで開催された「宿フェス～宿観光旅博覧会～」の宮崎県ブースで「宮崎ぎょうざ」をPRするとともに本市の魅力を発信した。

③ 「Jリーグ宮崎キャンプサッカーフェスティバル」参加のJリーグ8チームに宮崎ぎょうざを贈呈 チーム名：鹿島アントラーズ、サンフレッチェ広島、FC東京、横浜F・マリノス、大分トリニータ、横浜FC、ツエーゲン金沢、テゲバジャーロ宮崎

III. スポーツ観光受入事業

スポーツキャンプや各種大会の実施に伴う支援体制の充実を図り、受入環境の整備や観光客の満足度を高めるため利便性と周遊性の向上に努めた。

キャンプ期間中は、渋滞等の交通緩和対策をはじめ、歓迎ムードを盛り上げるため市内各所での賑わい創出を図り、スポーツランドみやぎきの推進に努めた。

また、令和5年3月に東九州自動車道の「宮崎市・清武南IC」～「日南市・東郷IC」間が開通し、「宮崎～日南」間のアクセスが良好となり、宮崎市3球団キャンプ地と日南市2球団キャンプ地間の周遊が短時間で可能となったため、日南市と連携し5球団キャンプ地の周遊性の向上に努め、スポーツキャンプを通じた人の流動を促進する事業を展開した。

1. キャンプ受入事業

(1) 福岡ソフトバンクホークス宮崎キャンプ受入事業

福岡ソフトバンクホークス春季キャンプ運営にあたり、案内看板や球団関係者向けの誘導看板設置、各駐車場への警備員配置、公園利用者と球団関係者の導線整備など様々な場面において、受入環境の充実に努めた。

【実施内容】

- ①警備（駐車場内、関係者誘導等）平日7名、土日祝32名
- ②臨時駐車場の整備（約5,100台）
- ③シャトルバス運行（C駐車場・D駐車場～）

キャンプ期間中週末10日間は、各日53台を配車。10～12日はお客様が多くなることを想定し1台追加。

- ④キャンプ期間中のラッピングバス広告を路線バス2台で実施
- ⑤キャンプ期間中のカラーコーン、イレクターフェンス、ゴムマットの設置

⑥路上駐車対策

⑦案内誘導看板の設置

⑧ホークスシーズンスタートガイドにキャンプ地周辺の交通関連情報や観光情報を掲載

(2) オリックス・バファローズ宮崎キャンプ受入事業

オリックス・バファローズの春季キャンプを実施するため、受入環境の充実に努めた。また、キャンプ観戦の来場者に、交通警備及び臨時駐車場を準備するなど、快適な環境作りに取り組み、期間中の土日祝日は臨時駐車場と運動公園内第1駐車場間で無料のシャトルバスを運行した。

【実施内容】

①警備（駐車場内、駐車場間誘導等）平日は6名、土日は13名で実施

②臨時駐車場の整備（約380台）

③シャトルバス運行

・A駐車場（谷之口農村公園）～第1駐車場間

・B駐車場（クロスモール清武）～C駐車場（JA宮崎中央南宮崎統括支店）～第1駐車場

※土日祝のみ

④キャンプ地の告知、臨時駐車場の広報

⑤キャンプ期間中のプレハブ、カラーコーン、ゴムマットの設置

⑥路上駐車対策

⑦案内誘導看板の設置

⑧キャンプ期間中のラッピングバス広告を路線バス2台で実施

(3) 読売巨人軍宮崎キャンプ受入事業

読売巨人軍宮崎キャンプが円滑に運営できるようキャンプ地の環境整備やジャイアンツタウンの周知を行うとともに、一般来場者や関係者向けへの誘導及び案内看板を設置した。

①ジャイアンツタウンの歓迎創出

1) ジャイアンツバスの運行

通年運行:バス2台

2) 宮崎ブーゲンビリア空港での歓迎装飾

来宮時のセレモニーや宮崎ブーゲンビリア空港でのエアポートボールパーク内でのグッズ等の展示。

期 間：令和6年2月2日～3月3日

3) 歓迎バナーの掲出

期 間：秋季 令和5年10月30日～11月16日

春季 令和6年 1月20日～ 3月 2日

内 容：中心市街地の橋通りアーケード及び江平商店街、橋橋、南バイパスに掲出

掲出枚数：100枚

(4) 三球シャトル運行支援事業

野球ファンにより本市を楽しんでもらう環境と周遊性を高めるとともに、交通対策の一助として、3球団のキャンプ地を巡る無料シャトルバス「三球シャトル」を運行した。

三球シャトルの運行：1日6往復×2ルート（土・日・祝日運行）

総乗車人員数：3,233名（前年度2,200名 前年度比147.0%）

1) 木花ルート：読売ジャイアンツ（木花）— オリックス・バファローズ（清武）

運行本数：60運行（5日間×6往復）

運行期間：令和6年2月3・4・10・11・12日 計5日間

乗車人員：1,141名

2) 生目ルート：福岡ソフトバンクホークス（生目）— オリックス・バファローズ（清武）

運行本数：120運行（10日間×6往復）

運行期間：令和6年2月3・4・10・11・12・17・18・23・24・25日 計10日間

乗車人員：2,092名

2. スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

(1) スポーツ等合宿受入支援事業

スポーツ合宿、大会誘致を図ることを目的に、本市で合宿する各種スポーツ団体を対象に宿泊費等の補助を行った。またアマチュア以外のスポーツ団体（プロスポーツ・日本代表）には、宮崎の特産品を贈呈し、スポーツランドみやぎの振興を図った。

①スポーツ合宿セールス

各エリアの旅行会社や競技団体に補助内容の説明及び、宮崎市内の施設の案内等を行った。

セールスエリア：福岡

期 間：令和5年6月19日～20日

セールス先：フェニックスリゾート（株）福岡、リトルコンシェル、ネオ倶楽部、J R九州旅行、（株）ヤングリゾート福岡、R.Project、（株）J T B九州団体、東武トップツアーズ（株）九州仕入、近畿日本ツーリスト（株）九州仕入、京王観光課（株）福岡支店、（株）日本旅行九州仕入

セールスエリア：関西

期 間：令和5年7月10日～12日

セールス先：（株）J T B京都、東武トップツアーズ（株）京都、（株）エイチ・アイ・エス関西、（株）ヤングリゾート大阪、フェニックスリゾート（株）大阪、東武トップツアーズ（株）大阪教育旅行、（株）J T B大阪教育事業部、（株）阪急交通社西日本事業部、（株）J T B神戸

セールスエリア：関東

期 間：令和5年10月24日～26日

セールス先：（株）読売旅行、クラブツーリズム（株）、（株）阪急交通社、（株）J T B教育第二事業部、玉川大学野球部、横浜商科大学野球部

②アマチュアスポーツ合宿補助

県外のアマチュアスポーツ団体等（プロスポーツ・代表チーム等は除く）に対して①宿泊費補助、②特産品、③貸切バス・レンタカー等の費用負担の中から選択した内容の補助を実施。

内 容：一人一泊につき1,000円を助成（上限10万円）

実 績：90団体（9,696名）

③アマチュア以外のスポーツ団体への特産品贈呈

内 容：アマチュア以外のスポーツ団体（プロスポーツ・日本代表）へ宮崎の特産品贈呈

実 績：21団体

主な贈呈先：ラグビー日本代表、スピードスケート日本代表、プロ野球自主トレ等

3. みやぎゴルフパラダイス事業

本市では、11月にダンロップフェニックストーナメントとJ L P G Aツアーチャンピオンシップリコーカップ、3月にアクサレディスゴルフトーナメントin MIYAZAKIの計3大会が開催される。ゴルファーにとって、この良い環境を生かし、より多くのゴルフ観光客を取り込むことを目的に誘客促進を図った。

ゴルフパラダイスキャンペーンでは本市近郊を含む18のゴルフ場と連携し、ゴルフプレー券やゴルフグッズ、宿泊券などが当たるスタンプラリーを実施。また、J A宮崎中央と連携し、宮崎の安心・安全な食をPRするため、両トーナメントへ野菜・果物を提供した。

また、今期は夏季閑散期の誘客施策として、7月から9月までをゴルフ場WEB予約サイトにて販促を展開。10月から翌年1月までは、「みやぎゴルフパラダイスキャンペーン」と銘打ち、各種イベントを開催。両トーナメントPRとともに、「ゴルフ＝宮崎」の発信に努めた。

ゴルフパラダイスキャンペーン期間：令和5年 7月1日～令和5年9月30日

令和5年10月1日～令和6年1月31日

ゴルフパラダイスツアー特典期間：令和5年10月1日～令和6年3月31日

○プロモーション

WEB予約サイトキャンペーン

期間：令和5年 7月 1日～3月31日

鉄道の日イベント

期日：令和5年10月28日

宮崎駅ステーションゴルフパラダイス 期間：令和5年11月 1日～30日

エアポートゴルフリゾート 期間：令和5年11月 3日～28日

(1) ダンロップフェニックストーナメント

宮崎ブーゲンビリア空港オアシス広場で、前年度優勝者比嘉一貴選手の歓迎セレモニーを実施。その他、ギャラリーサービスの向上を図るため、日南コース1番ホールで「こどもふれあい広場」を運営。ふれあい広場では託児所を設け親子で楽しめるトーナメント会場作りに努め、みやざき杉の木育遊具や子どもたちに人気の“ふわふわ”を設置し多くの利用者に賑わった。また、土日限定でポニーの乗馬体験も実施。平日は市内の幼稚園児を子どもふれあい広場へ招待。

大会期間：令和5年11月16日～19日

総観客数：17,658名

園児招待：11月17日 17名 広瀬共栄幼稚園
11月18日 35名 住吉幼稚園

(2) J L P G A ツアーチャンピオンシップリコーカップ

宮崎ブーゲンビリア空港オアシス広場で、前年度優勝者山下美夢有選手の歓迎セレモニーを実施。また、トーナメント会場となる宮崎カントリークラブ周辺に歓迎バナー・看板等を設置するとともに、ギャラリープラザ内においては、宮崎観光PRブースの運営やギャラリーインフォメーションの補助、市職員と連携し宮崎の特産品や宿泊券が当たるお楽しみ抽選会を実施。

大会期間：令和5年11月23日～26日

総観客数：10,905名

(3) アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI 2024

大会プログラムの広告として、ゴルフパラダイスの紹介、餃子のまち宮崎市、宮崎牛の記事を掲載。

大会期間：令和6年3月22日～24日

総観客数：6,116名

(最終日、降雨によるコースコンディション不良で中止)

(4) トーナメントとの連携

ダンロップフェニックストーナメント・JLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ優勝者ニシタチ手形モニュメントニシタチまちづくり協同組合と連携し、令和5年度優勝者の手形モニュメントを繫華街・ニシタチに展示。コロナ禍以降、集客が落ち込んでいる観光地ニシタチを盛り上げるとともに3月開催の「アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI 2024」の話題喚起を図るため、除幕式を実施。

期 日：令和6年3月20日

参 加 者：山下 美夢有選手（2023リコーカップ優勝者）

JLPGA副会長 小田 美岐氏

ダンロップフェニックストーナメント参与 安達 利也氏、関係者等

(5) 企業との連携によるPR活動

- ・「第3回ライオンズカップ IN 宮崎」協賛
- ・「FBS女子プロチャレンジゴルフ2023」協賛
- ・「スポーツインダストリーゴルフトーナメント2023」協賛
- ・「パーゴルフRZN杯 in フェニックス2024」協賛
- ・「全国ゴルフスクール対抗スクランブルゴルフ選手権」協賛
- ・「VIVID GOLF CUP vol2」協賛
- ・「ドリームステージ Experience」協賛

4. 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

スポーツイベントが開催される期間、市民や観光客に対しイベント開催ムードの醸成及び歓迎を目的に中心市街地及び北バイパス・南バイパスの道路付近に歓迎看板やバナー・フラッグを設置。

- 10月：みやざきフェニックス・リーグ
- 11月：みやざきゴルフパラダイス
- 1月～2月：Jリーグキャンプ
 - 2月：プロ野球春季キャンプ、5球団連携ロゴ入り歓迎看板
 - 3月：アクサレディスゴルフトーナメント

5. 福岡ソフトバンクホークス公式戦開催支援事業

3年連続となる福岡ソフトバンクホークスの公式戦を「ファイト！九州デー」としてひなたサンマリスタジアム宮崎で開催。当協会は施設調整、事前広報活動、交通対策、大会の盛り上げ等に協力。

- 期 日：令和5年4月8日
- 場 所：ひなたサンマリスタジアム宮崎
- 主 催：福岡ソフトバンクホークス
- 後 援：宮崎県、宮崎市、宮崎商工会議所、（公財）宮崎県観光協会、（公社）宮崎市観光協会
- カ ー ド：福岡ソフトバンクホークス VS 埼玉西武ライオンズ
- 結 果：0 対 3
- 観 客 数：21,668名（主催者発表）

6. プロスポーツキャンプ連携事業

本市内でキャンプを行う読売巨人軍、福岡ソフトバンクホークス、オリックス・バファローズの3球団と日南市でキャンプを行っている埼玉西武ライオンズ、広島東洋カープの2球団で5球団連携事業を実施。

2023年3月に東九州自動車道の「宮崎市・清武南IC」～「日南市・東郷IC」間が開通し、日南市・宮崎市のアクセスが非常に良好となったことから、各キャンプ地の周遊性の向上とスポーツキャンプを通じた人の流動を促進するための事業を展開した。「キャンプ地みやざき」を全国に発信するとともに高速道路の利用促進や本県での滞在時間の延長、経済効果の向上に努めた。

(1) ロゴマークの制作・活用

宮崎キャンプを行う5球団のロゴマークを使用し「宮崎キャンプ5球団連携ロゴマーク」を制作。歓迎看板、HP等に活用することで、「キャンプ地みやざき」のさらなるPRに努めた。

(2) 5球団連携事業ポスター作製

5球団キャンプのPRポスターを作製。
スタンプラリー、三球シャトルのPRを合わせ行った。

(3) フォトブースの設置

宮崎駅構内の観光案内所に、5球団連携ロゴを使用したパネルを展示。フォトブースとして活用した。

(4) その他情報発信

プロ野球春季キャンプの露出や3球団のプロモーションのため3球団のマスコットやイメージガールが宮崎に来宮し、キャンプ前に各種媒体やテレビ番組企画に参加。

期 間：令和6年1月18日～19日

内 容：UMKテレビ宮崎「U-d o k i」

MRT宮崎放送「つづくさんのどようだよ」「c h e c k」出演

IV. スポーツ観光セールス事業

宮崎でキャンプを行うプロ野球本拠地においてキャンプ地宮崎のPR及び宮崎キャンプへの誘客に努めた。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇るスポーツ施設や、全国有数の日照時間・温暖な気候などの恵まれたスポーツ環境や支援・受入体制についてセールスを行い、スポーツランドみやざきの情報発信と受入体制の充実に努めた。

1. スポーツランド情報発信事業

プロ野球チーム本拠地にて観光PR動画及び静止画を制作。ドーム内外で「キャンプ地みやざき」をPRし、宮崎への誘客促進を図るため場内看板と外部向けビジョンを活用し観光情の掲出や放映を行った。

- (1) 福岡ソフトバンクホークス本拠地（福岡 P a y P a y ドーム）
 手 段：大型ビジョンにて宮崎のイメージCM、観光情報の発信
 放映素材：宮崎市観光PR動画3パターン（15秒）
 放映回数：1試合あたり2回 ※3パターンを順繰りで放映
 放映期間：令和5年3月31日～10月3日
 視聴想定人数：1試合平均35,705名×71試合=2,535,055名
- (2) オリックス・バファローズ本拠地（京セラドーム大阪）
 手 段：大型ビジョンにて宮崎のイメージCM、観光情報の発信。
 ドーム内に固定の看板の掲出。
 放映素材：宮崎市観光PR動画3パターン（15秒）
 放映回数：1試合あたり2回 ※3パターンを順繰りで放映
 放映期間：令和5年4月1日～令和6年2月29日
 視聴想定人数：1,377,668名
 内訳：通常シーズン1試合平均19,896名×64試合=1,273,344名
 クライマックスシリーズ 104,324名
 固定看板 76試合 1,609,476名
- (3) プロモーション
 関東地区のプロスポーツチーム（読売ジャイアンツ、鹿島アントラーズ）と連携して、春季キャンプに向けた集客イベントを実施。関東圏の集客に努めた。
 期 日：令和5年12月2日～3日
 場 所：新宿みやざき館KONNE（東京都新宿区）
 内 容：キャンプ地みやざき大抽選会と称し、施設と連携したガラポン抽選会、青島神社“彦霊紙漕（むすびこより）”の体験、読売ジャイアンツマスコットのジャビットによるグリーティング、施設ビジョンによる当イベント情報発信を実施。

2. キャンプ地みやざきスペシャルマッチ事業

長年にわたり本市でキャンプを実施しているセレッソ大阪の本拠地で、来場しているサポーターに向けプロモーションを行った。今回はホームゲームとサポーター感謝祭の2日間にわたり「キャンプ地みやざき」をPRした。キャンプ地みやざきPRブースの出展や、各種イベントへの参画など、多くの方に“宮崎市”を知ってもらえるきっかけとなった。今後の「キャンプ地みやざき」への誘客へ繋がるものとなった。

(1) ホームゲーム日でのPR

期 日：令和5年7月16日
 場 所：ヨドコウ桜スタジアム
 カ ー ド：セレッソ大阪 VS 浦和レッドダイヤモンズ
 結 果：2 対 0
 観 客 数：21,007名

(2) 2023サポーター感謝Day「SAKURA CARNIVAL」でのPR

期 日：令和5年7月17日
 場 所：ヤンマースタジアム長居
 来場者数：約5,000名

3. みやざきスペシャルゲーム開催事業

本市でキャンプを行うプロ野球球団の本拠地である「福岡 P a y P a y ドーム」、「東京ドーム」、「京セラドーム大阪」で、「みやざきスペシャルゲーム」を開催し、「キャンプ地みやざき」のPRやイメージアップ、宮崎のイベント等のPRを行った。

(1) 東京ドーム「みやざきスペシャルゲーム」

期 日：令和5年5月13日
 カ ー ド：読売巨人軍 VS 広島東洋カープ
 結 果：5 対 4
 観 客 数：40,079名

(2) 京セラドーム大阪「みやざきスペシャルゲーム」

期 日：令和5年5月18日

カ ー ド：オリックス・バファローズ VS 北海道日本ハムファイターズ

結 果：3 対 5

観 客 数：30,278名

(3) 福岡PayPayドーム「みやざきスペシャルゲーム」

期 日：令和5年8月12日

カ ー ド：福岡ソフトバンクホークス VS 北海道日本ハムファイターズ

結 果：0 対 9

観 客 数：35,736名

4. スポーツセールス事業

本市はスポーツ施設をはじめ、天候などもスポーツに適した環境があり、プロスポーツをはじめ、アマチュアスポーツキャンプの受入も行っている。

地域間競争が激化している近年、プロ、アマ問わず関係者と連携を密にする必要があるため、誘致活動および情報収集を行った。

V. 少年少女スポーツ大会支援事業

少年少女たちが、スポーツ大会を通じてスポーツ交歓や交流を図るほか、未来を担う子どもたちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行った。

1. みやざきフェニックス・リーグ杯 少年少女サマーベースボールトーナメント

プロ野球の受入を中心として構築されてきた“スポーツランドみやざき”だからこそ出来る大会を目指し、野球を通じて他県の少年少女との交流を深め、憧れのプロ野球選手が使用するグラウンドでのプレーが大きな目標となり、未来を担う子供たちの健全な育成に寄与することを目的とした大会であり、今回で19回目の開催となった。

期 間：令和5年7月29日～31日 ※7月31日は、準決勝・決勝のみ実施

試合会場：生目の杜運動公園、清武総合運動公園、ひなた宮崎県総合運動公園

参加チーム：宮崎県外15チーム（福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県、高知県）
宮崎県内19チーム

優勝チーム：宮崎鷹黒（宮崎県）

準優勝チーム：住吉ベースボールクラブ（宮崎県）

2. ゴルフパラダイス観光推進事業

(1) みやざきゴルフパラダイス第18回宮崎ガスジュニアゴルフ選手権

ストロークプレーの部

期 日：令和5年9月9日

場 所：宮崎カントリークラブ

参 加 者：134名（小学校6年生以上高校生以下）

レッスン会

期 日：令和5年9月10日

場 所：フェニックスゴルフアカデミー

参 加 者：12名（小学生以上中学生以下）

(2) Miyazakiダンロップ・フェニックスカップ第3回中学生ソフトテニス大会

期 間：令和5年10月21日～22日

場 所：宮崎市生目の杜運動公園

参 加 者：約450名

収益目的事業

収 1. 宮崎ブランド商品魅力発信事業

1. 本市の魅力の商品化し、様々な場面において情報発信を行い地域の魅力アップに努めた。商品化に伴う新たな観光事業の展開や新たな観光資源の発掘を目指し各種様々な事業を行った。

また、会員企業と連携を図り、新しい魅力商品の開拓に努めたほか、ふるさと納税事業にも積極的に取り組んだ。さらには、県外でのプロモーションイベントで特産品販売等を行い、観光PRと収益事業に努めた。

(1) デサントジャパンとのタイアップによるグッズ販売

「スポーツランドみやざき」の魅力発信のため、デサントジャパン（株）とタイアップして商品の開発及び販売を行った。

販売商品：ポロシャツ、トートバッグ、スポーツキャップ、スポーツタオル、ハンドタオル

(2) ふるさと納税との連携事業

市企画財政部と連携し、当協会オリジナル商品をふるさと納税の返礼品として展開した。

返 礼 品：みやざきゴルフパラダイスゴルフボール、宮崎産マスク

※国の法改正により、9月30日にて一旦休止。

(3) 市中央卸売市場との連携

当協会は、令和3年度から仲買人登録を行い、市場内での仕入れが可能になっており、県外でのプロモーション時に青果物の販売事業に取り組んだ。

販売事業実績

第50回神戸まつり

期 日：令和5年5月28日

内 容：青果物の販売

来場者数：1,040,000名

収 2. プロ野球公式戦・オープン戦等の開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

(1) 2023プロ野球ファーム日本選手権

本市で11年連続13回目となるプロ野球ファーム日本選手権を開催。本市でキャンプを実施している読売巨人軍と福岡ソフトバンクホークスが対する一戦となった。来場者向けのイベントも再開され、学童招待企画や試合終了後のグラウンド開放などを実施した。さらに、「2023 WORLD BASEBALL CLASSIC™優勝トロフィー」の展示を行い、集客を図った。

期 日：令和5年10月7日

場 所：ひなたサンマリスタジアム宮崎

カ ー ド：読売巨人軍 VS 福岡ソフトバンクホークス

結 果：5 対 6

観 客 数：5,039名

2. その他 野球関連受入

(1) 侍ジャパン宮崎秋季キャンプ2023の受け入れ協力

11月に開催された、アジアチャンピオンシップに出場する侍ジャパンの事前合宿の受入を実施。宮崎市清武総合運動公園で8日間実施した。

キャンプ期間中は、スムーズな練習環境の整備のほか、交通対策や周辺の装飾をはじめ飲食エリア「侍パーク」を運営し、来場者サービスに努めた。

期 間：令和5年11月6日～13日
場 所：宮崎市清武総合運動公園
観 客 数：30,000名

法人会計

1. 会議の開催

(1) 定時総会 令和5年6月23日

(令和4年度事業報告、収支決算、令和5年度事業計画、収支予算、理事及び監事の選任について、役員報酬規則の改正について、他)

(2) 理事会

第1回 令和5年6月2日

(令和4年度事業報告、収支決算、令和5年度事業計画、収支予算、令和5年度補正予算(案)について、令和5年度定時総会の開催について、規則等の改正について、他)

第2回 令和5年6月23日

(会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について、顧問、参与の選定について、他)

第3回 令和5年10月20日

(新規事業について、令和5年度補正予算(案)について、会長、副会長、専務理事・常務理事(業務執行理事)の職務執行状況について、主な事業の報告について、他)

第4回 令和6年3月19日

(令和6年度事業計画(案)、収支予算(案)について、規則の改正等について、会長、副会長、専務理事・常務理事(業務執行理事)の職務執行状況について、主な事業の報告について、他)

(3) 総務企画委員会

第1回 令和5年5月25日

(観光功労者の選考について、令和4年度事業報告、決算報告について、令和6年度新規事業(案)について、他)

第2回 令和5年10月11日

(令和5年度補正予算(案)について、令和5年度上期事業報告・下期事業計画について、令和6年度以降の新規事業(案)の進捗について、他)

第3回 令和6年3月8日

(令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について、他)

(4) 監事会 令和5年5月18日

(5) 会長副会長会議

第1回 令和5年8月1日

(インバウンドについて、他)

第2回 令和5年10月20日

(公式戦開催について、他)

第3回 令和5年12月28日

(令和6年度 観光協会事業の方向性について、他)

2. 観光功労者の表彰

期 日：令和5年6月23日

受 賞 者：個人5名

(株)久光園	村岡 慎一	氏
神事流鏑馬	宮崎 宣幸	氏
フェニックスリゾート(株)	中武 庸二	氏
宮交ホールディングス(株)	橋本 香代	氏
宮崎空港ビル(株)	川越 央美	氏

3. 会員管理・交流

新春・親睦ゴルフコンペの開催

新春ゴルフコンペ

期 日：令和6年1月13日 参加者：25組 98名

場 所：宮崎レイクサイドゴルフクラブ

懇親会

期 日：令和6年1月13日 参加者：141名

場 所：宮崎観光ホテル

4. (公社)宮崎市観光協会リブランディング

(公社)宮崎市観光協会の愛称およびロゴ・マークを活用し、観光協会の明るくキラキラしたイメージの定着に努めた。

5. 職員採用試験の実施

(1) 嘱託職員採用試験

令和5年9月採用

第一次試験 書類審査

合格発表 期 日：令和5年7月28日

第二次試験 期 日：令和5年8月7日、8日

合格発表 期 日：令和5年8月10日

採用人数 1名

令和6年4月採用

第一次試験 書類審査

合格発表 期 日：令和6年1月19日

第二次試験 期 日：令和6年1月25日、26日

合格発表 期 日：令和6年1月31日

採用人数 2名

6. 健康宣言

職員が心身ともに元気に働ける健康づくりを目指し毎朝ラジオ体操を実施。

7. 職員観光視察研修の実施

職員の資質向上とスキルアップを図るため、全国の観光先進地等への視察研修を実施

期 間：令和5年8月末～令和6年3月

8. 勤怠管理システム「勤怠クラウド」の運用開始

運用開始：令和5年4月～

9. 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業に関する参画事業者説明会

期 日：令和5年8月18日

場 所：宮崎観光ホテル

10. 「宮崎市のインバウンド戦略を考える」勉強会

第1回 期 日：令和5年 9月29日 場 所：宮崎ナナイロ東館8階 ATOMi c a 宮崎

第2回 期 日：令和5年10月26日 場 所：宮崎市役所

第3回 期 日：令和5年11月15日 場 所：宮崎市役所

11. 宮崎県内主要観光協会意見交換会 (延岡市、高千穂町、日向市、日南市、都城市、宮崎市)

期 日：令和6年1月12日 場 所：宮崎市総合体育館

12. 国土交通省 令和6年度観光政策(官民連携)研修の参加

期 間：令和5年11月27日～12月1日

場 所：国土交通大学校 柏研修センター

13. 誘致活動事業

本市への誘客を図るため様々な団体と連携し情報交換を行うなど誘致活動を図った。

会員数

令和5年3月31日	正会員	359会員
	賛助会員	6会員

令和5年度増減内訳

	正会員入会	16会員
	正会員退会	10会員
合計	正会員	6会員(増)

令和6年3月31日

正会員	365会員
賛助会員	6会員

その他関連事業(協力会等)

1. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会

(1) 球春みやざきベースボールゲームズ

既存キャンプ球団の継続及び期間の長期化のためには、キャンプ期間中の実戦形式の練習環境が重要であることから、他県でキャンプを張るチームへ宮崎での練習試合開催を呼び掛け、12回目の開催。本県でキャンプを行うソフトバンク、オリックス、西武、沖縄でキャンプを実施しているロッテの4球団に加え、4年ぶりに韓国プロ野球 斗山ベアーズも参加し5球団で開催した。自治体及び関係団体で構成される「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」が主催となり、当協会は、実行委員会の事務局として大会運営を行った。

期 間：令和6年2月27日～29日

参加チーム：オリックス・バファローズ、福岡ソフトバンクホークス、
埼玉西武ライオンズ、千葉ロッテマリーンズ、斗山ベアーズ

【試合結果】

○2月27日

福岡ソフトバンクホークス	4対0	千葉ロッテマリーンズ	(アイビススタジアム)	観衆6,000名
埼玉西武ライオンズ	4対4	斗山ベアーズ	(サンマリノスタジアム宮崎)	観衆900名

○2月28日

福岡ソフトバンクホークス	4対3	埼玉西武ライオンズ	(アイビススタジアム)	観衆5,800名
オリックス・バファローズ	6対0	千葉ロッテマリーンズ	(SOKKENスタジアム)	観衆4,000名

○2月29日

オリックス・バファローズ	対	埼玉西武ライオンズ	(SOKKENスタジアム)	※雨天中止
千葉ロッテマリーンズ	対	斗山ベアーズ	(サンマリノスタジアム宮崎)	※雨天中止

2. 読売巨人軍宮崎協力会

(1) 読売巨人軍キャンプ受入事業

リーグ優勝と日本一を目指す読売巨人軍が66回目となる春季キャンプを実施。秋季キャンプは、阿部慎之助監督が就任され初めてのキャンプを実施、春季キャンプでは松井秀喜臨時コーチが来宮されるなど話題性の高いキャンプとなった。また春季キャンプでは、球団創設90周年を記念した新たな大型会場装飾やイベントを開催し、球団と連携した誘客に努めた。

秋季キャンプ：令和5年11月1日～14日

観客数：未発表

春季キャンプ：令和6年2月1日～14日（一軍選手）

令和6年2月1日～29日（ファーム選手）

観客数：137,000名（※2月1日～14日の観客数・球団発表）

（※令和5年春季キャンプ観客数：124,600名（※2月1日～14日の観客数））

3. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会

(1) 福岡ソフトバンクホークスキャンプ受入事業

リーグ優勝と日本一奪還を目指し、小久保裕紀監督新体制となった福岡ソフトバンクホークスが秋季・春季キャンプを実施。特産品などのPRを球団と連携して行った。キャンプ期間中にホークスビレッジとして飲食ブースを出店し営業を行ったほか、球団と連携し様々なファンサービスを行い来場者満足度向上に努めた。

秋季キャンプ：令和5年11月2日～17日

観客数：未発表

春季キャンプ：令和6年2月1日～29日

観客数：269,000名※球団発表

（※令和5年春季キャンプ観客数：251,000名（※2月1日～3月2日の観客数））

4. オリックス・バファローズ宮崎協力会

(1) オリックス・バファローズキャンプ受入事業

清武総合運動公園内で10回目となる春季キャンプの受入を行った。

キャンプ期間中はバファローズタウンを開設して、ステージイベントや飲食ブースを運営するとともに、各種観光PR等も球団と連携して行った。宮崎キャンプ10周年を迎え、休養日イベントの実施や記念グッズのサンプリングなどの新たな賑わい創出に努め、球団と連携を図りながらSNSを活用した情報発信も合わせて実施した。キャンプ終盤には「10周年記念試合」と称した練習試合を実施し、清武町出身の俳優 工藤綾乃氏が来場され、会場は盛り上がりを見せた。

春季キャンプ：令和6年2月2日～29日

観客数：247,196名

（※令和5年春季キャンプ観客数：207,000名（※2月1日～28日の観客数））

5. Jリーグ等宮崎協力会

J1が5クラブ、J2が5クラブ、J3が2クラブの計12クラブが市内グラウンドでキャンプを実施した。期間中の練習試合は、県内で39試合、内26試合が本市内で実施された。

また、令和6年2月に初開催した公開練習試合イベント「Jリーグ宮崎キャンプサッカーフェスティバル」では3日間計4試合で延べ約5,700名の来場者で賑わった。

(1) 春季キャンプ12チーム（※キャンプインの順番で滞在期間を掲載）

○サンフレッチェ広島（J1）

滞在期間：令和6年1月15日～1月26日（12日間）

1月29日～2月6日（9日間）

○徳島ヴォルティス（J2）

滞在期間：令和6年1月22日～2月3日（13日間）

○横浜F・マリノス（J1）

滞在期間：令和6年1月22日～2月2日（12日間）

- 鹿島アントラーズ（J1）
滞在期間：令和6年1月23日～2月3日（12日間）
- 大分トリニータ（J2）
滞在期間：令和6年1月25日～1月31日（7日間）
- 横浜FC（J2）
滞在期間：令和6年1月25日～2月3日（10日間）
- ファジアーノ岡山（J2）
滞在期間：令和6年1月27日～2月10日（15日間）
- アビスパ福岡（J1）
滞在期間：令和6年1月28日～2月10日（14日間）
- ツエーゲン金沢（J3）
滞在期間：令和6年1月29日～2月14日（17日間）
- FC岐阜（J3）
滞在期間：令和6年2月2日～2月8日（7日間）
- セレッソ大阪（J1）
滞在期間：令和6年2月6日～2月17日（12日間）
- ベガルタ仙台（J2）
滞在期間：令和6年2月5日～2月18日（14日間）

(2) チーム本拠地への表敬訪問

- セレッソ大阪
期 日：令和5年7月16日 場 所：ヨドコウ桜スタジアム
- 横浜F・マリノス
期 日：令和5年9月29日 場 所：日産スタジアム
- ベガルタ仙台
期 日：令和5年9月30日 場 所：ユアテック仙台
- 鹿島アントラーズ
期 日：令和5年11月11日 場 所：県立カシマサッカースタジアム

(3) 「Jリーグ宮崎キャンプサッカーフェスティバル」の開催

新たな取り組みとして、集客を目的とした公開練習試合イベントを主催した。

通常はチーム同士でマッチメイクしているが、集客が見込める週末のみ当協会主導でマッチメイクを行い、公開練習試合の運営をはじめ、来場者向けのサービスを行った。

Jリーグキャンプの露出と誘客につながり、多くの来場者で盛り上がった。また、試合前にはセレモニーを実施し両チームに「宮崎ぎょうぎ（100人前）」を贈呈しPRを図った。

①鹿島アントラーズ － テゲバジャーロ宮崎

期 日：令和6年1月27日 14：00キックオフ
場 所：ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場
観 客 数：約2,000名
出 店：キッチンカー3台

「鹿島アントラーズ」グッズ販売、「テゲバジャーロ宮崎」PRブース

②横浜F・マリノス － 大分トリニータ

期 日：令和6年1月28日 11：00キックオフ
場 所：アミノバイタルトレーニングセンター宮崎
観 客 数：約2,200名
出 店：キッチンカー3台

「横浜F・マリノス」「大分トリニータ」グッズ販売

「アミノバイタル（味の素）」PRブース

その他：横浜F・マリノスによるサッカー教室の開催（参加人数：県内小学生70名）

③横浜FC － ツエーゲン金沢

期 日：令和6年2月3日 10：30キックオフ
場 所：アミノバイタルトレーニングセンター宮崎
観 客 数：約1,500名 ※③④の延べ人数
出 店：キッチンカー…3台、パン販売…1店舗

「横浜FC」グッズ販売、「アミノバイタル（味の素）」PRブース

④サンフレッチェ広島 — FC東京

期 日：令和6年2月3日 14：00キックオフ
場 所：アミノバイタルトレーニングセンター宮崎
観 客 数：約1,500名 ※③④の延べ人数
出 店：キッチンカー3台、パン販売1店舗
「アミノバイタル（味の素）」PRブース

6. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会

第20回フェニックス・リーグは、プロ野球ファーム全12球団と四国アイランドリーグ plus 選抜、日本独立野球機構選抜、4年ぶりに韓国からKBO選抜が2チーム参加し、合計16球団で実施した。

20回目の記念大会ということもあり、開幕前の子供向けイベント「スタートダッシュイベント」を開催したほか、全球団から選手を招いてトークショー等を行う「スペシャルイベント」も復活し野球ファンの裾野を広げる取組を行った。

期 間：令和5年10月9日～30日

実施試合：144試合（うち天候不良により14試合中止）

場 所：アイビススタジアム、SOKKENスタジアム、ひなたサンマリンスター宮崎 他県内各球場（計：10球場）

7. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会

(1) 青島ビーチセンター指定管理業務（渚の交番）

当指定管理事業は平成24年度から「渚の交番青島プロジェクト実行委員会」の構成団体となっている「（公社）宮崎市観光協会」（代表構成員）、「（特非）宮崎ライフセービングクラブ」と連携し、さらには、「渚の交番運営委員会」の各委員からの協力・支援等によって、より効果的な事業展開を図り、毎年魅力的な価値の創出や海水浴場の管理運営業務に努めている。

本施設の運営目的は、宮崎の「マリンスポーツやビーチスポーツの拠点」として、「海浜利用者の利便性の向上」や「観光地及び地域の振興」を図ることにある。第一に安心・安全に留意しながら、他団体とのネットワークを通じて出来る限りの事業を展開し青島地区の地域振興に努めた。

【主な行事】

- ・地域パトロール事業：沿岸、青島地域パトロールの実施
- ・青島CUPサーフィン大会
期 日：令和5年9月23日
- ・砂あそびビーチ
期 日：令和5年6月11日
- ・総合水難救助訓練
期 日：令和5年6月26日
- ・青島海水浴場管理運営業務委託
期 間：令和5年7月1日～8月27日
- ・渚の交番運営委員会の開催
期 日：第1回 令和5年6月15日
第2回 令和6年2月19日
- ・体験プログラム受入
期 間：通年 利用者：209名
- ・地域連携（ワークショップ、地域交流等）
期 間：通年 利用者：1,516名

【年間状況】

年間施設利用者数：23,066名（前年度18,580名 前年比124%）

上期15,065名、下期8,001名（シャワー・ロッカー等利用者含む）

(2) 青島海水浴場管理運営業務

青島ビーチセンターの指定管理業務運営に伴い、渚の交番青島プロジェクト実行委員会（(公社)宮崎市観光協会・(特非)宮崎ライフセービングクラブとの協同運営）で、夏季青島海水浴場の管理運営業務を受託し、悪天の多いシーズンとなったが、雷、高潮などに注意しつつ、管理・運営に努めた。

開設期間：令和5年7月1日～8月27日 [58日間]

※遊泳禁止 累計9日（終日9日間）

来場者数：157,446名（前年度132,385名 前年比 118.9%）

救助件数：168件（内様子見141件、安全移送、迷子、その他）

救護件数：320件（内ケガ刺され243件、虫さされ、切り傷、擦過傷、その他）

(3) 青島ビーチ魅力アップ事業

青島の観光素材を生かし賑わい創出と海水浴場利用者の利便性の向上を図り、「青島ビーチパーク」を開設して9年目。通年営業としては2年目を迎え、貨物コンテナを改造したコンテナハウスショップで、飲食1店舗を出店した。

9年目となった令和5年度は、5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、様々なイベントも開催され、昨年度以上に多くの観光客に青島の魅力を発信することができた。

主 催：渚の交番青島プロジェクト実行委員会

[構成団体] (特非)宮崎ライフセービングクラブ、(公社)宮崎市観光協会

入 場 料：無料

場 所：渚の交番東側公園内

出店店舗：1店舗（uminoie）